

C S P創業者・森田名誉会長の記念館が完成、披露式を挙行

C S Pの創業者で、昨年4月逝去した森田健三名誉会長の業績を偲んで、東京都町田市のC S P東京研修センターに隣接して建設していた「森田記念館」が完成、社内外から多数の出席者を迎えた「落成披露祝賀会」が催されました。

鉄筋コンクリート2階建て、延べ床面積973m²の記念館内部には、1階に240席の講堂をはじめ、記念碑「響和(きょうわ)の碑」、森田名誉会長が生前本社で愛用したデスクやC S Pの歴史を示す写真・資料などを展示したギャラリー、2階にはラウンジと2つの視聴覚教室などがあります。

《未来へ羽ばたくC S Pを象徴〔響和の碑〕》

「響和(きょうわ)の碑」は、東京芸大美術学部の工藤晴也助教授の制作で、「森田名誉会長の創業の精神と、それを支えてきた物故社員の遺志、そして現役社員一同の心が強く結び合い、響き合い、未来へはばたくC S Pのエネルギーとなる」との願いを込めて建立されました。

祝賀会では、福西社長から「この記念館に魂を吹き込み、『仕事を通じ社会に寄与する』の『創業の理念』を実現するためのよすがにしたい」との挨拶がありました。



「森田記念館の外観」



「落成披露式で挨拶する福西社長」



「未来へはばたくC S Pを象徴する
『響和の碑』」



「森田名誉会長が愛用したデスクやC S P
の歴史を示す品々が並ぶ1階ギャラリー」